

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日

《公益事業活動》

1. 児童青少年育成事業

児童青少年育成事業とは、こども文化劇場の開催など文化活動を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とするものである。

(1) こども文化劇場の開催

こども文化劇場とは、舞鶴では、生の演劇に触れる事が少ないので、親子で優れた演劇を観てもらって、夢と感動を与え、人間の生き方を考える機会とする。

<第24回こども文化劇場>

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 平成28年8月4日(木) |
| 場所 | 舞鶴市総合文化会館 |
| 主催 | 舞鶴子ども育成支援協会・公益財団法人舞鶴文化教育財団 |
| 共催 | 舞鶴市 |
| 出演者 | すわらじ劇園 |
| 演目 | 不思議なバイオリン |
| 来場者数 | 約1500人 |
| 来場対象者 | 幼児・小学生・父兄など |
| 参加料 | 無料 |
| 開催案内方法 | 舞鶴市内の公民館と図書館及び子育て交流施設、子育てひろばなどに、ポスターとチラシと入場整理券を配布した。 商業施設のインフォメーションボードにポスターを貼った。 |

(2) 生活文化向上作品展

生活文化向上作品展とは、夢と希望のある作品を制作し、出品できる機会を作り、生活文化の向上に寄与する。今年度も小学校の夏期の自由研究の形で提出される科学作品展を、更に発展させるために、努力・アイディアの観点から選出し、多くの人が集まる大型店で展示した。子供達に大きな夢と希望を持って、科学の探求や生活文化の向上に取り組んで欲しい。

<第20回小学校生活文化向上作品展>

| | |
|----------|--|
| 開催日 | 平成28年9月24日(土)～9月25日(日) |
| 場所 | 駅前の大型商業施設「らぼーる」1階 セントラルコート |
| 出品作品数 | 48点 |
| 出品対象者 | 舞鶴市内の小学校児童 |
| 出品作品募集方法 | 舞鶴市小学校教育研究会・舞鶴市内の小学校の協力を得て、科学作品展に出品されている作品から、選定した。 |
| 出品作品選定方法 | 小学校の科学作品展に行き、選んだ(9月10日(土)総合文化会館小ホール)。 |
| 選定委員 | (公財)舞鶴文化教育財団理事長・理事 |
| テーマ | 「科学研究や生活文化の向上に、アイディアや努力を持って、取り組む姿勢」 |

| | |
|--------|----------------------------------|
| 来場者人数 | 約1900人 |
| 来場対象者 | 幼児からお年寄りまで |
| 参加料 | 無料 |
| 開催案内方法 | 舞鶴市内の小学校校長先生及び選出された保護者に案内文を送付した。 |
| 記念品 | 出品してくれた児童に出した。 |

(3) 文化興隆事業

文化興隆事業とは、日本の良き文化を継承し、発展していくために実施する。

<第18回小学生書初め展>

| | |
|----------|--|
| 開催日 | 平成29年1月15日(日) |
| 場所 | 「らぼーる」1階 セントラルコート |
| 出品作品数 | 72点 |
| 出品対象者 | 舞鶴市立高野小学校の5年生と6年生児童 |
| 出品作品募集方法 | 舞鶴市内の小学校に順番に依頼しており、今年度は舞鶴市立高野小学校に依頼した。 |
| 出品作品選定方法 | 選定するのではなく、学年全体で出品してもらった。 |
| テーマ | 新年にふさわしい言葉 |
| 来場者数 | 約524人 |
| 来場対象者 | 小学生からお年寄りまで |
| 参加料 | 無料 |
| 開催案内方法 | 作品を出品してもらっている小学校に文書で案内した。 |
| 記念品 | 出品してくれた児童に出した。 |

2. 教育、スポーツ、文化活動事業

教育、スポーツ、文化活動事業とは、教育、スポーツ、文化活動を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業である。

(1) 教育関係事業

教育関係事業とは、教育関係者に対する助成、英語祭に対する助成、当財団が主催する文化的教室などを通して、市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を育成する。

①教育研究の助成事業

教育研究の助成とは、舞鶴市に設立されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、国立高等専門学校、海上保安学校などにおいて、幼少期から青年期までの心身の発達と教育効果の高揚を期するため、教育関係の個人及び団体に対し、一層の研究の推進を図る。

- ・助成先の募集方法

HP上で基準公開の上、公募した。
平成28年4月15日(金)から5月27日(金)
小学校校長会(4月14日)・中学校校長会(4月26日)に出席して説明した。
- ・助成書類の確認と各校のヒアリングを実施した。
- ・選定委員会

平成28年6月29日(水)
小川彬理事・高橋淑郎理事・理事長

舞鶴市の小学校・中学校・教育研究会・支援施設より13団体応募があり、選定委員会で13団体が助成内定した。

・助成金額 1研究につき、30万円以下とする。

・助成先と研究主題

舞鶴市立中筋小学校

研究主題： ロボット研究室 ～世界大会を目指して～

助成内容： 講師謝礼、ロボット部品等購入費

※ロボット研究室体験に参加（理事他2名）

開催日 11月10日（木）

場所 中筋小学校

内容 5年生児童によるプログラミング体験

出席者 校長、教務主任、教諭、5年生児童、保護者
学校支援ネットワーク「なかすじ」委員長

舞鶴市立与保呂小学校

研究主題： 確かな読みの力を身に付け、豊かに表現する児童の育成

助成内容： 講師招聘費

舞鶴市立若浦中学校

研究主題： 「共に学び合える学校づくり」

～活動的・協同的・表現的な学びを通して～

・学び合い ・支え合い ・磨き合い

助成内容： デジタル教科書、講師謝礼

※研究発表会に参加（2名）

開催日 2月14日（火）

場所 若浦中学校

内容 公開授業と全体会、講師の深沢幹彦氏による講演

出席者 小中学校の教諭

舞鶴市中学校教育研究会

研究主題： ICT を活用した英語学習入門期を支える小中連携カリキュラム作り ～スパイラルに学習が進む教材開発～

助成内容： iPad、講師謝礼

※英語部夏期研修会に参加（理事他2名）

開催日 8月10日（木）

場所 城北中学校

内容 講師の mpi 松香フォニックス、栗栖浩子氏による講演
中学教員による実践発表など

出席者 中学校教育研究部員、小学校外国語活動担当、ALT

社会福祉法人舞鶴市社会福祉協議会舞鶴こども発達支援施設 さくらんぼ園

研究主題： 「笑顔が広がる療育」の創造

助成内容： ビデオカメラ、教材（遊具・玩具）、研究図書費

※施設見学に訪問（理事他3名）

見学日 10月27日（木）

場所 さくらんぼ園
内容 施設と療育の見学
出席者 園長先生

舞鶴市立朝来小学校

研究主題： 「自ら考える子、高め合う子の育成」～算数科を通して～
助成内容： タブレット、ICT 周辺機器、研究紀要代

舞鶴市立白糸中学校

研究主題： 主体的・協働的な学びと家庭学習の充実に向けて
助成内容： テレビ、講師謝礼

※校内授業研究会に参加（2名）

開催日 平成29年1月13日（金）

場所 白糸中学校

内容 公開授業と事後研究会、講師の原清治氏による講演

出席者 校長、教頭、教諭

舞鶴市立倉梯小学校

研究主題： 考える楽しさ、分かり合う喜びを感じられる子どもの育成
～自ら学び、仲間と深め合う国語学習を目指して～

助成内容： 講師招聘費、児童図書費、プロジェクター

舞鶴市立余内小学校

研究主題： 「義務教育課程のシームレス化」を図る教育活動の推進
～主体的・協働的な学びを目指す授業～
～保幼小の効果的な接続を目指して～

助成内容： 講師謝礼

※連携授業に参加（2名）

開催日 10月31日（月）

場所 余内小学校

内容 保幼小連携授業（東山保育園年長と余内小学校1年生）
鳴門教育大学大学院教授、木下光二氏による講演

出席者 校長先生、教頭先生、城北中学校校長先生、
東山保育園園長先生、聖母幼稚園園長先生、研究主任の先生、
1年生児童、保育園年長園児

舞鶴市立岡田小学校

研究主題： つながって学ぶ
～自分の考えを持ち、言葉で伝え合う子どもの育成～

助成内容： 研究書籍、研究紀要製本費

舞鶴市立城北中学校

研究主題： 主体的・意欲的に考え、共に学びあう生徒を育てる

助成内容： 講師謝礼、タブレット

舞鶴市立志楽小学校

研究主題： 気付きから主体的な学びを育む情報教育
「学ぶ意欲と豊かな表現力、そして学び合う力の育成」

助成内容： 液晶テレビ、講師招聘、研究会用紙

※情報教育研究大会に参加した（2名）

開催日 11月2日（水）
場所 志楽小学校
内容 1～6年生の公開授業、全体会、研究協議、分科会
出席者 京都府教育庁 指導主事、府内小学校の先生

舞鶴市立三笠小学校

研究主題： 「自己を見つめ、自信に満ちた三笠っ子の育成」
～豊かな心をはぐくむための道徳実践～

助成内容： 児童図書費

②舞鶴市中学校英語祭助成事業

舞鶴市中学校英語祭助成とは、主催は舞鶴市中学校教育研究会で、舞鶴市教育委員会と後援している。舞鶴市内7中学校の各学年代表による、英語・スピーチコンテストを実施することにより、国際化時代に対応する英語力の育成を図る。

<第32回舞鶴市中学校英語祭(OEF)>

開催日 平成28年11月12日（土）
場所 舞鶴市総合文化会館 小ホール
主催 舞鶴市中学校教育研究会
後援 舞鶴市教育委員会・公益財団法人舞鶴文化教育財団
対象者 舞鶴市内の中学校7校
出場者数 7校21名
入賞者数 9名
入賞選定委員 舞鶴市立中学校英語科教諭 2名
AET 3名
選定基準 声の大きさ・発音・スピーチの内容・発表態度
助成 楯 6個（各学年優勝、準優勝×3学年）
参加賞 30名（参加者と受付などのスタッフ）
出席者 舞鶴市教育委員会指導主事、先生方、保護者の方々、
理事長代理、財団スタッフ1名

③文化・体育教室の開催

文化・体育教室として、幼児・児童の心身の健全な発達に寄与し、人間性を育成する事を目的とし、「おもちゃツアー」を開催する。積み木・木のおもちゃを通して、幼児・児童の豊かな心を育むと共に、指導者の発想の転換を図る。

<第2回おもちゃツアー>

開催日 平成28年11月21日（月）、22日（火）
場所 幼稚園ホール、小学校体育館（聖母幼稚園、
舞鶴幼稚園、朝来幼稚園、志楽幼稚園、
明倫小学校区地域放課後児童クラブ）
対象者 園児（5～6歳）、児童（7～9歳）
講師 おもちゃとオルゴールのミュージアム
現代玩具博物館・オルゴール夢館 館長
内容 持参されたおもちゃと共に各施設を訪問し、
おもちゃの紹介や積み木で遊んだ

(2) 文化教育等団体への助成事業

文化教育等団体への助成事業とは、文化、教育、スポーツ活動を行う団体への助成活動を通じて、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

①チビッコソフトボール大会助成

チビッコソフトボール大会への助成とは、主催は舞鶴市PTA連絡協議会・社団法人舞鶴青年会議所で、地域における協働・連携の推進・青少年健全育成を目的に開催されている。舞鶴市内の小学生が、各町内を代表して1つの小学校から1～2チーム出場し、トーナメント形式で勝敗を決める。同時に絵画も募集し、大会当日優秀作品も展示されている。大会運営費や記念品を贈呈した。

＜第45回市長旗チビッコソフトボール大会＞

| | |
|-------|---------------------------------|
| 開催日 | 平成28年8月21日(日) |
| 場所 | 東舞鶴運動公園陸上競技場 |
| 援助 | チビッコソフトボール大会の運営費・ポスターコンクールの記念品等 |
| 参加チーム | 18校区代表24チーム |
| 優勝チーム | A・B・Cゾーン各1チーム |
| 参加者数 | 選手348人 監督24人 |
| 来場者数 | 約350人 |

※理事長代理と財団スタッフ1名が出席した

②社会文化団体など助成

社会文化団体などへの助成とは、一般社会において、法人・団体・組合などで組織活動を行う場合は、組織の範囲内で活動・運営することが当然であるが、新規事業を行う場合等に、資金不足に陥る事がある。そこで、外部からの援助を行う事により、活動が広がり社会貢献に繋がっていく。

・助成先の募集方法

HP上で基準公開の上、公募した。

平成28年4月15日(金)から5月20日(金)まで

・助成金額

一件あたり20万円以下とする。

・審査 平成28年6月6日(月)理事会にて

・助成先と事業内容

舞鶴みなとライオンズクラブ

「舞鶴こども発明クラブ」

贈呈式 平成28年9月23日(金)

助成 舞鶴こども発明クラブ事業費

出席者 舞鶴みなとライオンズクラブ

(公財)舞鶴文化教育財団 理事・スタッフ

※舞鶴こども発明クラブを見学する(理事1名)

開催日 平成28年11月19日(土)

場所 京都職業能力開発短期大学校

ポリテクカレッジ京都 4号館視聴覚室

内容 舞鶴こども発明クラブ ゴム銃の製作
参加者 指導者7名、子供14名、
舞鶴みなとライオンズクラブ6名

特定非営利活動法人 北近畿みらい

「2016北近畿みらい塾～共にしましょう！村おこしまちおこし～」

贈呈式 平成28年9月2日（金）

助成 北近畿みらい塾事業費

出席者 北近畿みらい塾 理事長・副理事長・理事・事務局長
（公財）舞鶴文化教育財団 理事長・理事・スタッフ

※第6回北近畿みらい塾に参加した（理事長他1名）

開催日 平成28年10月28日（金）

場所 舞鶴市 杉山集会所

内容 NPO 法人名水の里杉山理事長、松岡良啓氏による講演

参加者 約40名

縄文ものづくりフォーラム

「縄文時代の布についての研究、縄文人の生活と道具についての実験

考古学的研究・工芸技術についての研究」

贈呈式 平成28年12月15日（木）

助成 縄文ものづくりフォーラムにおける研修費、材料費等

出席者 縄文ものづくりフォーラム 会長・庶務会計
（公財）舞鶴文化教育財団 理事・スタッフ

③教育機関への助成事業

海上保安学校助成

海上保安学校助成とは、日本でただ一つの海上保安学校は舞鶴の誇りであり、海
国日本の海上交通安全や、海上警備のために、大きな役割を果たす海上保安官を養
成している。この重要任務を担われている海上保安学校に対して、地元から声援を
送りたいと、不足している図書・教材・楽器などの教育備品拡充の支援を行なっ
てきた。今年度は昨年度に引き続き、教育備品の拡充及び教育環境の整備・充実を支
援した。

<講演会>

開催日 平成28年11月22日（火）

場所 海上保安学校講堂

講師 元東京都監察医務院長 医学博士 上野正彦氏

演題 検視に必要な法医学入門（法医学講義）

対象 学生及び教官方

<学生音楽隊演奏技術指導料支援>

5月から3月まで計34回の指導料支援

<クラブ活動技術指導料支援>

剣道・柔道クラブの指導料支援

<贈呈式>

日時 平成29年3月29日（木）15：00～15：30

場所 海上保安学校 公室

| | | |
|-----|---|----|
| 出席者 | 海上保安学校 学校長・事務部長・総務課長・教官 (公財)舞鶴文化教育財団 理事長、理事、スタッフ | |
| 目録 | ユーフォニアム | 一台 |
| | 吹奏楽譜 | 一式 |
| | 楽器調整 | 一式 |
| | 書籍・DVDソフト | 一式 |
| | ネットワーク機器 | 一式 |

学校法人聖ヨゼフ学園 日星高等学校助成

舞鶴市内にある唯一の私立の高等学校であり、第二次世界大戦後の混迷期から、一貫して女子生徒の情操や道德面の教育に力点を置き、大きな成果を上げて来られた。更に男女共学になり、高等看護専門コースも併設され、広範な教育推進に専念されている。これまでも、図書やベッドなどの備品拡充に協力してきた。

今年度は、音楽関係助成の中で助成を実施した。

④音楽関係助成

音楽関係助成とは、音楽活動を通じて、舞鶴市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的とし、音楽活動を行なう団体及び舞鶴市に設立されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、国立高等専門学校、ポリテクカレッジなどのクラブ活動に助成するものである。

- ・審査 平成28年6月6日(月)の理事会
中学校5校、高等学校2校、団体1つの申請があり、理事会で審査され決定した。
- ・助成先の募集方法 HP上で基準公開の上、公募した。
平成28年4月15日(金)から5月20日(金)
- ・助成金額 1事業50万以下とする。
- ・助成先及び助成の内容

舞鶴市立青葉中学校 輝け青葉デー「会場費等」

贈呈式 平成28年11月3日(木)

場所 舞鶴市総合文化会館 大ホール

出席者 青葉中学校の先生、生徒、OB会、保護者

(公財)舞鶴文化教育財団 理事・財団スタッフ

※輝け青葉デーに出席した(理事他2名)

日時 平成28年11月3日(木)

場所 舞鶴市総合文化会館 大ホール

内容 全校合唱コンクール

出席者 青葉中学校の先生、生徒、OB会、保護者

舞鶴市立城南中学校 吹奏楽部「ホルン 1台」

贈呈式 平成28年8月19日(金)

場所 舞鶴市立城南中学校

出席者 教頭先生、顧問の先生、吹奏楽部員

(公財)舞鶴文化教育財団 理事・財団スタッフ

※定期演奏会に出席した(理事他1名)

日時 平成28年11月12日(土)

場所 城南中学校 体育館
舞鶴市立城北中学校 吹奏楽部「クラリネット 1台」「トロンボーン 1台」
「ジルジャンシンバル 1組」

贈呈式 平成28年7月12日(火)

場所 舞鶴市立城北中学校

出席者 顧問の先生、吹奏楽部員

(公財)舞鶴文化教育財団 理事・財団スタッフ

※定期演奏会に出席した(理事他1名)

日時 平成28年11月6日(日)

場所 城北中学校 体育館

舞鶴市立若浦中学校 音楽創美部「アコースティックギター 一式」
「和太鼓チャップ 1台」
「ギタースタンド 2台」「譜面台 4台」
「演奏移動旅費・楽譜代等」

贈呈式 平成28年7月15日(金)

場所 舞鶴市立若浦中学校

出席者 校長先生、教諭2名、音楽創美部員

(公財)舞鶴文化教育財団 理事・財団スタッフ

※演奏会に出席した(理事他2名)

日時 平成28年8月3日(水)

場所 身体障害者支援センター ぽーればーれ

京都府立西舞鶴高等学校 吹奏楽部「バリトンサクソフォン 1台」

贈呈式 平成28年7月6日(水)

場所 京都府立西舞鶴高等学校

出席者 副校長先生、顧問の先生、吹奏楽部員

(公財)舞鶴文化教育財団 理事・財団スタッフ

舞鶴市立白糸中学校 吹奏楽部「クラリネット 1台」「フルート 1台」
「テナーサクソフォン 1台」

贈呈式 平成28年7月7日(木)

場所 舞鶴市立白糸中学校

出席者 顧問の先生、吹奏楽部員

(公財)舞鶴文化教育財団理事・財団スタッフ

※演奏会に出席した(理事他1名)

日時 平成28年11月20日(日)

場所 白糸中学校 剣道場

吹奏楽団ブルーマリNZ 「シロフォン 1台」

贈呈式 平成28年11月13日(日)

場所 舞鶴市東体育館

出席者 ブルーマリNZ団長、団員の方々、

(公財)舞鶴文化教育財団理事・財団スタッフ

※演奏会に出席した(2名)

日時 平成29年4月23日(日)

場所 舞鶴市総合文化会館 大ホール
 聖ヨゼフ学園日星高等学校 吹奏楽部「バリトンサクソフォン 1台」
 贈呈式 平成28年8月25日(木)
 場所 聖ヨゼフ学園日星高等学校 音楽室
 出席者 校長先生、教頭先生、顧問の先生、吹奏楽部員
 (公財)舞鶴文化教育財団理事・財団スタッフ

(3) スポーツ活動事業

スポーツ活動事業とは、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

① 体育振興事業

体育振興事業とは、身体を動かすことによって、市民の心身の健全な発達に寄与する。

＜健康体操教室の開催＞

指導員 財団スタッフ4名
 (内3名は公益財団法人日本スポーツクラブ協会の「中高老年期運動指導士」資格を持つ)
 開催日 毎月6回(各老人ホーム・障害者支援施設で月1回実施した)
 場所 特別養護老人ホーム安寿苑とデイサービス
 特別養護老人ホームグリーンプラザ博愛苑とケアハウス
 舞鶴市立安岡園
 障害者支援施設 こひつじの苑舞鶴
 参加人数 各教室で約10人から15人

3. 文化財保護事業

文化財保護事業とは、舞鶴市に係わる文化財の保護事業を通して、文化の発展に寄与する。

① 神崎ホフマン窯保存活用事業

現在、ホフマン窯は日本に4箇所残っているだけである。神崎ホフマン窯は国の登録文化財に登録されており、平成19年に、「建造物の近代化に貢献した赤煉瓦生産の歩みを物語る近代化産業遺産」として認定され、平成23年10月には管理団体として指定を受けた。また、平成28年には「日本遺産」の指定を受けた。

・ホフマン窯見学

| | | |
|----------|--------------------|------|
| 4月28日(木) | 舞鶴市立由良川小学校 | 58名 |
| 5月2日(月) | 舞鶴市立岡田小学校 | 約96名 |
| 5月7日(土) | 舞鶴退職教職員の会 | 16名 |
| 5月16日(月) | 大阪府高槻市より個人 | 2名 |
| 6月25日(土) | (同)まいづる広域観光公社よりツアー | 16名 |
| 7月14日(木) | 兵庫県尼崎市より個人 | 2名 |
| 8月10日(水) | 京丹後市より個人 | 1名 |
| 8月23日(火) | 赤れんが博物館 | 2名 |
| 8月28日(日) | 大阪府枚方市より個人 | 2名 |
| 10月8日(土) | 舞鶴市農林課よりツアー | 18名 |

| | | |
|-----------|---------------------|-------|
| 10月18日(火) | ひばり幼稚園 | 約150名 |
| 10月29日(土) | (同) まいづる広域観光公社よりツアー | 16名 |
| 11月25日(金) | 月刊誌「一個人」取材 | 3名 |
| 11月27日(日) | 舞鶴市内より個人 | 4名 |
| 2月2日(木) | 京都新聞取材 | 2名 |
| 3月11日(土) | 城南会館よりふるさと歴史講座 | 18名 |

- ・冊子「若狭湾国定公園内 神崎煉瓦ホフマン式輪窯」の販売
- ・財団スタッフの一人が常駐し、ホフマン窯周辺の清掃・管理などを行なっている。

②史跡表示石柱

平成3年度から平成4年度に郷土舞鶴を見直し、文化財の保護に寄与し散策に役立つために石柱を設置した。今年度は舞鶴市内の史跡表示石柱を回り、清掃・管理を行うと共に、公共機関等へパンフレットの設置を行った。いずれは、舞鶴市内に設置してある石碑なども加えていき、市内の文化財を知ってもらい、理解を深めて欲しい。

- ・石柱や周辺の清掃、管理

4. 国際交流事業

国際交流事業とは、外国の風土や文化を理解することにより、国際感覚を養い、外国人・留学生など、地域で生活している人が増えている現状の中で、外国人と市民が直接、交流できる場を提供する。

(1) 国際交流事業の助成

この事業は、京都府民に係る非営利を目的とする団体等が実施する イ)青少年児童交流促進に関する事業 ロ)文化交流事業 ハ)留学生等外国人府民支援事業 ニ)海外に対する協力事業 ホ)その他市民レベルの国際交流事業で助成の効果が期待できる事業などの各種交流事業に助成することで、舞鶴市民の国際交流活動を活性化させ、市民レベルの国際交流活動を育成・奨励するために行なわれる。また当該団体等が助成対象事業を確実に遂行できる見込みがあることを要する。

- ・助成先の募集

HP上で基準公開の上、公募した。

平成28年4月15日(金)から5月20日(金)まで

- ・助成金額

今年度は1事業60万円以下とし、施設費、備品購入費は1事業120万円以下とする。

- ・助成先と事業内容

今年度は申し込み者がなく、実施していない。

(3) 国際交流児童画展の開催

国際交流児童画展では、言葉では表せないものが絵には自然と表れるので、絵を描いたり見ることによって、自分の町を知り、また他国との違い・共通点を見つけて視野を広げて欲しい。

<第9回国際交流児童画展>

開催日 平成29年3月18日(土)～3月19日(日)

開催場所 「らぼーる」1階 セントラルコート

| | | |
|----------|---|-----|
| 出品作品数 | 海外の子供達の絵（インド・フィリピン・ネパール・ドイツ・中国・韓国） | 40点 |
| | 舞鶴幼稚園の絵（年少～年長） | 30点 |
| | 海外のおもちゃ（インド・フィリピン・韓国・ドイツ アメリカ・スイス・フランス・日本） | 20点 |
| 絵画の集め方 | 当財団にある外国の子供達の絵から未展示の絵を選んだ。 舞鶴市内の幼稚園の絵を借りた。 | |
| おもちゃの集め方 | 全て当財団が購入したもの。 | |
| 来場者数 | 約1300人 | |
| 来場対象者 | 幼児からお年寄りまで | |
| 参加料 | 無料 | |
| 開催案内 | 各新聞社にFAXを送信した。 出展依頼をした幼稚園にミニチラシの案内を出した。 | |
| 記念品 | 出品してくれた園児に出した。 | |